

藤 支 発 8 3 4 号  
平成 3 1 年 3 月 2 0 日

保護者 様

大阪府立藤井寺支援学校  
校 長 藤 井 雅 乗

### 平成 30 年度 第 3 回学校運営協議会について（報告）

平成 31 年 2 月 26 日（火）に開催致しました学校運営協議会の要旨を報告致します。

会 長：北川 末幾子（大阪府立大学 非常勤講師）

副会長：中島 智子（大阪大谷大学 特任教授）

委 員：北村 敦（藤井寺市立藤井寺小学校 校長）

竹澤 住江（卒業生保護者 しゅらの郷福祉会理事 支援センターしゅらの郷管理者）

前田 行雄（藤井寺市河北地区 副区長）

松木 礼子（P T A会長） \* 敬称略

#### 1 開会

- ・挨拶 校長 藤井 雅乗
- ・配布資料の確認

#### 2 報告

(1) 平成 30 年度 2 月 進路状況について（進路指導部） 【資料に基づいて報告】

(2) 教職員の勤務と健康に関する実態調査結果（安全衛生委員会）【資料に基づいて報告】

今年度は 6 月に実施した（昨年度は 1 1 月）。教員数が減少した学部の教員ほど負担を感じているという結果になった。教職員の要望により、更衣室にマットを導入するなど、改善を行っている。

（委員）対策として具体的に取組まれていることはあるか。

→会議の資料は事前に配布して会議時間の短縮を図る。会議の終了時間を提言する、など。

毎週金曜日に No 残業 day、月に 1 日 No 会議 day を設けている。

(3) スパイダーの実践報告～全肢研ポスター発表より～（中学部教員）【ポスター掲示】

(4) 本校の防災対策について ～今年度の取り組みと来年度に向けて～（防災対策 P T）

首席 4 名、児童生徒指導部・総務部・保健部の部長 + 1 名、事務長で実施。8 月に教職員対象の大規模災害避難訓練を行った後、9 月に児童生徒と一緒にいった。具体的な課題が見えてきた。

（委員）宿泊行事の避難について考えておられるか。宿泊先によっては、津波に巻き込まれるような場所もある。

→学年の色で修学旅行の行き先が決まる。下見で避難場所の確認を行う。BCP を作成していくにあたり、意識をより高めていきたい。

（委員）不審者への対策は？

→毎年教職員の訓練を行った後に、児童生徒と一緒にしている。

(5) 羽曳野市立高鷲南小学校との共同研究について（リーディングスタッフ）

1年・6年を対象に実態把握のためのアセスメント（眼球運動と視知覚）を実施し、その後ビジョントレーニングに取り組んでもらい、3ヵ月後に効果測定を行った。多くの児童に眼球運動の改善が認められ、ビジョントレーニングの効果が実証された。

これらの取り組みや効果を南河内ブロックに対して発信し、今後の支援に繋げていきたい。

### 3 協議

(1) 平成30年度学校評価について（校長）【資料に基づいて報告】

（会長）医療的ケアについては、学校生活を充実して過ごすためのもの。教室内で吸引を行うことで、児童生徒が授業に参加できる。

(2) 平成31年度学校経営計画について（案）（校長）【資料に基づいて報告】

（委員）道徳教育・人権教育の推進として書かれている「児童・生徒会による人権尊重の啓発週間の設定」について、どのような取り組みをされているか。

→（校長）子どもたちに考えさせたい。あいさつなど、簡単なところから進めていければ。

→（委員）子どもたち主体の取り組みをぜひお願いしたい。

### 4 協議のまとめ（会長）

### 5 閉会

(以上)